

基本目標Ⅰ 人権の尊重と多様性を認め合う社会づくり												
主要課題Ⅰ 人権と多様性の尊重												
事業番号	1	事業名	人権教育の理解促進	所管課	指導室							
事業の概要	人権教育としての男女平等教育の充実を図るため、日々の教育活動から児童・生徒への人権感覚の醸成を図るとともに、教員が人権意識のある指導を行えるよう、人権教育推進委員会をはじめ、各種研修会において人権意識の向上に資する研修を行います。											
◆令和6年度振り返り-取組実績(DO)												
「事業の概要」を踏まえ、意識して取り組んだ内容・取組実績												
●基本目標及び主要課題達成に向け、事業の概要を意識して取り組んだか					<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ							
教職員の人権意識の醸成を図るため、各校における人権教育に係る研修の充実を図った。												
◆令和6年度振り返り-評価(CHECK)												
指標でみる達成状況												
評価指標	家事・子育て・介護等の家庭内での役割は男女がともに担う必要があると思う市民の割合											
基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度							
70.5%	71.8%	72.9%	73.7%		75.0%							
◆今後の方向性(課題及び取組の方向) (ACTION)												
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小									
今後の取組の方向	自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めることのできる児童・生徒の育成を目指し、全教員が人権教育の視点を明確にした指導を充実できるよう、学校訪問や各種研修会・委員会等で指導・助言を行っていく。											
△												
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(令和6年度の取組及び今後の方向性)												
評価	A	評価理由	年間を通じて、校長会や副校長会等において、教職員の人権感覚の醸成について指導することができた。また、学校訪問や各種研修会等により、人権教育に関する現状と課題を周知し、各学校における人権教育・道徳教育・生活指導の充実が図られた。									

基本目標Ⅰ 人権の尊重と多様性を認め合う社会づくり														
主要課題Ⅰ 人権と多様性の尊重														
事業番号	2	事業名	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発	所管課	多様性社会・男女共同参画推進課									
事業の概要	性別によって役割を分けてきたこれまでの慣習や考え方を見直し、性別にかかわらず一人ひとりが個人として尊重され、家庭においても社会的活動においても個性と能力を発揮していくための情報提供や講座を実施します。													
◆令和6年度振り返り-取組実績(DO)														
「事業の概要」を踏まえ、意識して取り組んだ内容・取組実績														
●基本目標及び主要課題達成に向け、事業の概要を意識して取り組んだか						<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ								
1 仕事とダブルケアの両立に向けた講座「どうする？介護と育児のダブルケア」を実施し、固定的な性別役割分担意識による“ワンオペ×ダブル”にならないよう、考える機会を提供した。 2 男女共同参画の観点から、谷岡理香氏の講演会「メディアの歴史から読み解く“自分らしさ”との関係～朝ドラからSNSまで～」を実施し、メディアで描かれる男女像の変化について、最近話題のドラマなどにふれ、その歴史を振り返り、自分らしさとの関係を考える機会を提供した。 3 アンコンシャス・バイアスをテーマにした男女共同参画推進センター通信しぇいくはんずを発行し、固定的な性別役割分担意識についても考える機会とした。														
◆令和6年度振り返り-評価(CHECK)														
指標でみる達成状況														
評価指標	家事・子育て・介護等の家庭内での役割は男女がともに担う必要があると思う市民の割合													
基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値								
70.5%	71.8%	72.9%	73.7%			75.0%								
◆今後の方向性(課題及び取組の方向) (ACTION)														
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小													
今後の取組の方向	引き続き、講演会等を実施し意識啓発と情報提供を継続して実施していく。													
△														
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(令和6年度の取組及び今後の方向性)														
評価	A	評価理由	講演会だけでなく、情報誌の発行等様々な機会を通じて、多くの方に男女像の変化や性別役割分担意識について考えるきっかけを提供することができた。講演会等の実施に当たっては、無料保育を実施する等、子育て中の市民も参加しやすいよう配慮した。											

基本目標Ⅰ 人権の尊重と多様性を認め合う社会づくり															
主要課題Ⅰ 人権と多様性の尊重															
事業番号	22	事業名	ライフステージに応じた性と生殖に関する情報の提供や講座の実施	所管課	多様性社会・男女共同参画推進課										
事業の概要	女性のみならず男性に対しても、女性の生涯にわたる健康の問題についての理解を深める情報を提供や相談を実施します。また、思春期・青年期の子どもたちやその保護者を対象に、学校等と連携して、正しい知識や生命の尊さについて理解を深める情報提供・講座等を実施します。														
◆令和6年度振り返り-取組実績(DO)															
「事業の概要」を踏まえ、意識して取り組んだ内容・取組実績															
●基本目標及び主要課題達成に向け、事業の概要を意識して取り組んだか						<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ									
1 相談事業の実施 女性の心や性・体の悩みなどについて、相談者自身が解決の糸口を見出せるよう、医学的知識を有する助産師による女性のヘルスケア相談を実施した。グループ相談ほっとサロンにおいては、「産後のからだを知ろう！」「親がまず知る“性教育”～乳幼児編～」「更年期と上手に付き合う」など様々なテーマで実施した。															
2 男女共同参画視点の情報提供 男女共同参画推進センターの図書・情報コーナーにおいて、書籍等を展示・貸出することで、男女共同参画に関する情報の発信・提供に努めた。															
3 講座の実施 女の子がスポーツを続けていくうえで、身体、メンタル、社会的環境等の男の子にはない課題について、多くの女性アスリートを育成してきた講師から取り組み方を学ぶ講座を実施した。															
◆令和6年度振り返り-評価(CHECK)															
指標でみる達成状況															
評価指標	心身ともに健康だと感じている市民の割合														
基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値									
71.1%	69.8%	74.8%	72.4%			80.0%									
◆今後の方向性(課題及び取組の方向) (ACTION)															
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小												
今後の取組の方向	個別相談のほか、様々なテーマでグループ相談を実施し、多岐にわたる相談への対応を図っていく。また、情報発信に努めるとともに、講座を実施し、理解を深める機会を提供していく。														
△															
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(令和6年度の取組及び今後の方向性)															
評価	A	評価理由	個別相談のほか、様々なテーマでグループ相談を実施し、多岐にわたる相談への対応を図ることができた。また、情報発信に努めるとともに、講座を実施し、理解を深める機会を提供することができた。												

基本目標Ⅰ 人権の尊重と多様性を認め合う社会づくり														
主要課題Ⅰ 人権と多様性の尊重														
事業番号	22	事業名	ライフステージに応じた性と生殖に関する情報の提供や講座の実施		所管課	健康推進課								
事業の概要	女性のみならず男性に対しても、女性の生涯にわたる健康の問題についての理解を深める情報提供や相談を実施します。また、思春期・青年期の子どもたちやその保護者を対象に、学校等と連携して、正しい知識や生命の尊さについて理解を深める情報提供・講座等を実施します。													
◆令和6年度振り返り-取組実績(DO)														
「事業の概要」を踏まえ、意識して取り組んだ内容・取組実績														
●基本目標及び主要課題達成に向け、事業の概要を意識して取り組んだか						<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ								
1 健康相談：相談を希望する市民に対応 2 情報提供：月1回、「健康なくらしのために」の広報紙発行、エイズや梅毒など性感染症の周知、通年で健康づくり教室、がん検診の啓発を実施した。 3 講話：もうすぐママパパ教室(母親・両親学級)の中で、産後の女性の身体の変化について妊婦とそのパートナーでの共有を図った。 4 学童クラブの児童を対象に体験型のミニ講話、就学前の幼児とその保護者に対する健康づくり講話、中学生や小学生を対象に薬物乱用防止の講話、中学生へのがん教育の中で、こころやからだの健康について伝えた。														
◆令和6年度振り返り-評価(CHECK)														
指標でみる達成状況														
評価指標	心身ともに健康だと感じている市民の割合													
基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値								
71.1%	69.8%	74.8%	72.4%			80.0%								
◆今後の方向性(課題及び取組の方向) (ACTION)														
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小													
今後の取組の方向	引き続き、各教室や相談、講話を通じて、性と生殖に関する正しい知識や生命の尊さについて理解を深めるため情報発信できる場を継続して検討する。													
△														
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(令和6年度の取組及び今後の方向性)														
評価	A	評価理由	生涯にわたる健康の問題について、理解を深めるために、様々な機会を通じて情報提供、講話を実施した。											

基本目標Ⅰ 人権の尊重と多様性を認め合う社会づくり

主要課題Ⅰ 人権と多様性の尊重

事業番号	22	事業名	ライフステージに応じた性と生殖に関する情報の提供や講座の実施	所管課	指導室
事業の概要	女性のみならず男性に対しても、女性の生涯にわたる健康の問題についての理解を深める情報提供や相談を実施します。また、思春期・青年期の子どもたちやその保護者を対象に、学校等と連携して、正しい知識や生命の尊さについて理解を深める情報提供・講座等を実施します。				

◆令和6年度振り返り-取組実績(DO)

「事業の概要」を踏まえ、意識して取り組んだ内容・取組実績

●基本目標及び主要課題達成に向け、事業の概要を意識して取り組んだか

はい いいえ

学校における性教育について学習指導要領に示された内容を全ての児童・生徒へ確実に指導するとともに、児童・生徒が性に関する正しい知識を身に付け、適切な意思決定や行動選択ができるよう取り組んだ。

◆令和6年度振り返り-評価(CHECK)

指標でみる達成状況

評価指標	心身ともに健康だと感じている市民の割合					
基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値
71.1%	69.8%	74.8%	72.4%			80.0%

◆今後の方向性(課題及び取組の方向) (ACTION)

今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小
今後の取組の方向	外部講師を活用した授業を実施するなど学校における性教育の充実を図っていく。		



基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(令和6年度の取組及び今後の方向性)

評価	A	評価理由	学校において、全ての教職員で共通認識を図り、性教育の取組の充実に向けて取り組んだため。
----	---	------	---

基本目標Ⅰ 人権の尊重と多様性を認め合う社会づくり										
主要課題2 配偶者等からの暴力(DV)の根絶										
事業番号	6	事業名	配偶者暴力の防止に対する意識の向上	所管課	多様性社会・男女共同参画推進課					
事業の概要	配偶者暴力は重大な人権侵害であるという認識を社会全体で共有するための講座や講演会等の実施、パンフレット等の配付やホームページ・広報紙を通じて、広報活動・情報提供に取り組みます。また、母子保健事業を通して、男女が協力して育児することの大切さを伝えることにより、配偶者暴力の予防及び防止に向けて取り組みます。									
◆令和6年度振り返り-取組実績(DO)										
「事業の概要」を踏まえ、意識して取り組んだ内容・取組実績										
<p>●基本目標及び主要課題達成に向け、事業の概要を意識して取り組んだか</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ</p> <p>1 パープルリボンプロジェクト in ちょうふの実施 (1) 女性に対する暴力根絶運動の国際的なシンボルマークである「パープルリボン」の着用について、市職員はもとより、民間事業者にも協力をいただき、「女性に対する暴力の根絶」に向けた市民意識の醸成につなげた。 (2) 総合福祉センターのウインドウ美術館において、若年層に向けた「デートDV」「性暴力」防止啓発パネルを展示した。また、同期間に開催した農業まつりにおいてもポスター等を展示し、暴力防止について幅広い周知を行った。 (3) 男女共同参画推進センターの展示ブースに、「DV・性暴力」に関するセンター所蔵及び調布市立図書館所蔵書籍を展示した。 (4) 暝のない社会に向けて、一人一人が考える機会となるよう、カードにメッセージを記入し展示中のツリーに飾るワークショップ及び花紙で花を作りリボンの形の下絵の上に貼るワークショップを実施した。 (5) 女性への暴力防止について考える、性加害事件がきっかけとなった韓国のドキュメンタリー映画「成功したオタク」を上映した。 (6) 内閣府が実施を呼び掛けているパープルライトアップについて、文化会館たづくり壁面で実施した。また、あくろす3階窓ぎわでパープルライトアップ及びオレンジライトアップを実施した。</p> <p>2 出前講座の実施 市内中学3年生及び大学生を対象としたデートDV出前講座を実施した。</p> <p>3 相談事業 男女共同参画推進センターで実施している相談事業について、市報へ掲載やX(旧Twitter)を活用した周知を行った。また、窓口・電話に加え、オンラインによる予約受付を追加した。 暴力に関する相談件数:令和6年度 488件(令和5年度 486件)</p>										
◆令和6年度振り返り-評価(CHECK)										
指標でみる達成状況										
評価指標	男女共同参画推進センターといったDV(ドメスティック・バイオレンス)に関する相談窓口を知っている市民の割合									
基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
39.7%	33.1%	34.7%	30.9%		50.0%					
◆今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)										
今後の方向	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小									
今後の取組の方向	配偶者暴力やデートDVの防止に向け、パープルリボンプロジェクトや講座等の取組を継続して実施するとともに、評価指標である相談窓口を知っている市民の割合が増加するよう、市内商業施設での相談案内の掲示やSNSの活用など周知方法の充実を図っていく。また、適切に相談につながるよう庁内連携の強化を図っていく。									
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(令和6年度の取組及び今後の方向性)										
評価	B	評価理由	展示、ワークショップ、映画上映など様々な手法を用い、市民意識の醸成や意識啓発、市民への情報発信・提供に努めた。また、相談事業については、より気軽に相談していただけるようオンラインによる予約受付を開始したが、評価指標が低下したことから相談窓口の更なる周知を図っていく。							

基本目標Ⅰ 人権の尊重と多様性を認め合う社会づくり

主要課題2 配偶者等からの暴力(DV)の根絶

事業番号	10	事業名	被害者の状況に応じた相談事業の実施	所管課	市民相談課
事業の概要	窓口を訪れた被害者の意思を尊重し、被害者の状況に応じた適切な相談として、暴力に関する専門相談員による相談、母子相談等を実施します。				
◆令和6年度振り返り-取組実績(DO)					
「事業の概要」を踏まえ、意識して取り組んだ内容・取組実績					
●基本目標及び主要課題達成に向け、事業の概要を意識して取り組んだか				<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
1 専門相談の実施 夫婦や男女間における日常生活のトラブルのうち、暴力に関する相談があった場合は、以下の各専門相談員において適切に対応するよう努めた。 (1) 法律相談(弁護士) (2) 家庭相談(専門相談員) (3) 人権身の上相談(人権擁護委員)					
◆令和6年度振り返り-評価(CHECK)					
指標でみる達成状況					
評価指標	男女共同参画推進センターといったDV(ドメスティック・バイオレンス)に関する相談窓口を知っている市民の割合				
基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
39.7%	33.1%	34.7%	30.9%		50.0%
◆今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)					
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小				
今後の取組の方向	専門相談員による適切な助言に基づき、今後も関係機関との連携を図っていく。				
△					
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(令和6年度の取組及び今後の方向性)					
評価	A	評価理由	各種相談事業は、個室で専門相談員との対面式により行っており、プライバシー等には十分配慮している。 また、窓口を訪れた相談者の意思や状況に応じた適切な相談を実施した。法律相談については、10月から窓口・電話に加え、オンラインによる予約受付を追加したことにより、相談者の利便性の向上に繋げることが出来た。		

基本目標Ⅰ 人権の尊重と多様性を認め合う社会づくり																
主要課題2 配偶者等からの暴力(DV)の根絶																
事業番号	10	事業名	被害者の状況に応じた相談事業の実施		所管課	子ども家庭課										
事業の概要	窓口を訪れた被害者の意思を尊重し、被害者の状況に応じた適切な相談として、暴力に関する専門相談員による相談、母子相談等を実施します。															
◆令和6年度振り返り-取組実績(DO)																
「事業の概要」を踏まえ、意識して取り組んだ内容・取組実績																
●基本目標及び主要課題達成に向け、事業の概要を意識して取り組んだか						<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ										
生活上の困難を抱える母子、または女性が来所した際には、必要な相談や情報提供を行い、専門機関や相談員につないだ。																
◆令和6年度振り返り-評価(CHECK)																
指標でみる達成状況																
評価指標	男女共同参画推進センターといったDV(ドメスティック・バイオレンス)に関する相談窓口を知っている市民の割合															
基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値										
39.7%	33.1%	34.7%	30.9%			50.0%										
◆今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)																
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 繼続		<input type="checkbox"/> 拡充		<input type="checkbox"/> 縮小											
今後の取組の方向	様々な暴力の相談にも確実に対応できるよう関係機関との連携を強化し、被害者に必要な情報を提供していく。															
△																
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(令和6年度の取組及び今後の方向性)																
評価	A	評価理由	相談や情報提供を行うことで、相談者に対し安全な環境を提供できた。その後も関係機関と連携し、自立に向けて支援することにより、安定した生活に結び付けることができた。													

基本目標Ⅰ 人権の尊重と多様性を認め合う社会づくり															
主要課題2 配偶者等からの暴力(DV)の根絶															
事業番号	10	事業名	被害者の状況に応じた相談事業の実施		所管課	健康推進課									
事業の概要	相談を訪れた被害者の意思を尊重し、被害者の状況に応じた適切な相談として、暴力に関する専門相談員による相談、母子相談等を実施します。														
◆令和6年度振り返り-取組実績(DO)															
「事業の概要」を踏まえ、意識して取り組んだ内容・取組実績															
●基本目標及び主要課題達成に向け、事業の概要を意識して取り組んだか						<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ									
<p>各種健康診査や個別相談支援(面接・電話相談、家庭訪問)の場面で配偶者等からの暴力に関する相談があった場合は、相談者の状況を丁寧に聞き取り、相談者の意向に寄り添いながら、必要に応じて専門機関や専門相談員につないだ。</p>															
◆令和6年度振り返り-評価(CHECK)															
指標でみる達成状況															
評価指標	男女共同参画推進センターといったDV(ドメスティック・バイオレンス)に関する相談窓口を知っている市民の割合														
基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値									
39.7%	33.1%	34.7%	30.9%			50.0%									
◆今後の方向性(課題及び取組の方向)(ACTION)															
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 繼続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小												
今後の取組の方向	配偶者等からの暴力に関する相談があった場合に適切に専門相談員の支援につなげられるよう、関係機関と密に連携を図る。														
△															
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(令和6年度の取組及び今後の方向性)															
評価	A	評価理由	相談対応する際、プライバシーの配慮や安心して相談ができるよう環境を整え、相談者に子がいる場合は、子の発育、健康面の観察をして必要に応じて関係機関と連携を図った。												